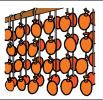
∃鴨小だより

NO. 14 令和2年11月16日(月) 発行日 三鴨小学校長 発行者 秋元 寬次

学校教育目標

かしこい子 くましい子



11月に入り木枯らし1号も吹き、いよいよ冬が間近に迫ってきたように感じます。 子供たちは、校内持久走大会に向けて、みかもっ子タイムの時間に元気に校庭を走っつ習体と心を鍛えています。また、先日の家族授業参観では、お忙しいところ子供たちの学を参観いただきありがとうございました。子供たちの学校での頑張りをご覧いただけたとと思います。 【校内授業研究会】 10月19日(月)に4年2組(飛鳥教諭)で、社会科の研究授業を行いました。とちずの秋祭りを続けるためにどんな工夫があるのか、祭りに携わる人々は、どんな願いを込めて祭りを行っているのか、考えることができました。また、この学習ではしたりは話を利用して教室にいながら祭りの代表の方の話を聞いたり、インタビューしたりました。

ました。







【見せ合う授業(道徳)】 10月28日(水)に1年1組(板橋教諭)において、「はしの上のおおかみ」の教材を使って、身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる学習をしました。最後に「これからともだちにどんなことがしたいですか。」という問いに「ともだにやさしくしたい」「だいじょうぶ、と声を掛けたい」などの意見が出されました。







【一人一人の人権を大切に】
〇いじめを許さない三鴨小を
11月30日(月)から、人権週間が始まります。児童の人権に対する感受性
や判断力を高め、人権尊重の意識の高揚を図ることを目的としています。
そこで、一人一人の人権を大切にして、友達とよりよい関係を築くためには、どんなことが大切なのか、ちょっと考えてみましょう。
様々な考え方があると思いますが、・・・
当たり前のことですが、まず、自分が言われて様なっとなります。

当たり前のことですが、まず、自分が言われて嫌なことを友達に言わない、自分がされて嫌なことを友達にしないことが大切です。自分の言動や行動を日々振り返り、自分自身を成長させていくことはとても大切なことですね。

みんなで、いじめのない、いじめを許さない三鴨小をつくっていきましょう。

○一人一人の個性を認めて
「十人十色」という言葉のとおり、一人一人様々な個性をもっています。三鴨小には173人の子供たちの173とおりの個性があります。
友達とのキョリの取り方、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手な児童もいます。また、その行動や態度から「自分勝手」とか「変わった子」「困った子」と誤解され、敬遠される場合もあります。その子の努力していることやうまくいっている点を褒めた上で、できなかったところは、どのようにすればよくなるかを分かりやすく伝えていきましょう。また、誰にでも得意なこと、苦手なことがあります。できなかったところを責めるのではなく、うまくいったところを一緒に喜び合いましょう。

(政府広報オソライソ参照)